

注3

大学番号：040

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前伺い

山梨大学大学院 医工農学総合教育部  
工学専攻 (博士課程)

注2

## 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人山梨大学  
令和2年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局(課)名	企画課
職名・氏名	イッパンシヨクイン 一般職員 ・ サイトウ ショウ 齋藤 将
電話番号	055-220-8014
(夜間)	055-220-8014
F A X	055-220-8799
e-mail	kikaku@yamanashi.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 医工農学総合教育部

<工学専攻（博士課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	48
7. その他全般的事項	49

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 山梨大学

## (2) 大学名

山梨大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒400-8511 (〒400-8510)  
山梨県甲府市武田4-3-11 (山梨県甲府市武田4-4-37)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(シマダ シンジ) 島田 眞路 (平成27年4月)	(平成31年4月)	学長再任に伴う変更 (元) 平成31年4月1日
理事 (教学担当)	(ホリ テツオ) 堀 哲夫 (平成27年4月)	(ムラマツ トシオ) 村松 俊夫 (平成31年4月)	理事就任に伴う変更 (元) 平成31年4月1日
専攻長	(クマダ ノブヒロ) 熊田 伸弘 (平成30年4月)	(令和2年4月)	専攻長再任に伴う変更 (2) 令和2年4月1日
コース主任	(テラダ ヒデツグ) 寺田 英嗣 (平成30年4月)	(ハナワ マサノリ) <del>(ミノ ヒデトシ)</del> 埜 雅典 美濃 英俊 (令和2年4月) <del>(平成31年4月)</del>	コース主任交代のため (2) 令和2年4月1日 コース主任交代のため (元) 平成31年4月1日
コース主任	(オクザキ ヒデノリ) 奥崎 秀典 (平成30年4月)	(イリエ ヒロシ) <del>(ハリモト テツオ)</del> 入江 寛 張本 鉄雄 (令和2年4月) <del>(平成31年4月)</del>	コース主任交代のため (2) 令和2年4月1日 コース主任交代のため (元) 平成31年4月1日
コース主任	(スズキ タケヤス) 鈴木 猛康 (平成30年4月)	(ミヤザキ ジュンイチ) <del>(ニシダ ケイ)</del> 宮崎 淳一 西田 継 (令和2年4月) <del>(平成31年4月)</del>	コース主任交代のため (2) 令和2年4月1日 コース主任交代のため (元) 平成31年4月1日

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
医工農学総合教育部 工学専攻（博士課程） 博士（工学） 博士（学術）	工学関係 社会学・社会福祉学関係	3年	23人	年次人	69人	基礎となる学部等  工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	23 (-) [-]	10 (-) [-]	23 (-) [-]	7 (-) [-]	23 (-) [-]	1 (-) [-]	0.97倍	-	
志願者数	23 (-) [6]	10 (-) [6]	22 (-) [5]	7 (-) [6]	9 (-) [1]	1 (-) [1]			
受験者数	23 (-) [6]	10 (-) [6]	22 (-) [5]	7 (-) [6]	9 (-) [1]	1 (-) [1]			
合格者数	23 (-) [6]	10 (-) [6]	22 (-) [5]	7 (-) [6]	9 (-) [1]	1 (-) [1]			
B 入学者数	21 (-) [6]	10 (-) [6]	20 (-) [5]	7 (-) [6]	9 (-) [1]	1 (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.34		1.17		0.39				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		令和元年度		令和2年度		備考
	平成30年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	21 [6] (-)	10 [6] (-)	20 [5] (-)	7 [6] (-)	9 [1] (-)	7 [6] (-)	
2年次	/		21 [6] (-)	10 [6] (-)	19 [5] (-)	10 [6] (-)	
3年次			/		/		21 [6] (-)
4年次	/						/
計			31 [12] (-)		58 [23] (-)		

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	31 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	58 人	1 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	1 人	0 人	就職(1人)
令和2年度	66 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合計		1 人		1 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{31} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{58} = \boxed{1.72} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{66} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

< 医工農学総合教育部 工学専攻 (博士課程) >

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
<b>(システム統合工学コース)</b>													
共通大学院	科学者倫理学	1前	1									5	
	医工農総合特論	1後	1			1						5	
	小計(2科目)	-											
共通専攻	機能の現象学特論	1後	1			1							
	リスクマネジメント特論	1集中	1			1	1						
	小計(2科目)	-											
システムデザイン分野専門科目	熱物理工学特論	1後	2			1	1						
	乱流輸送工学特論	1後	2				2						
	先端材料学特論	1前	2			1	1						
	生産加工学特論	1前	2			1	1						
	振動制御特論	1後	2			1	1						
	輸送システム工学特論	1前	2			1	1						
	色工学特論	1前	2			1							
	波動応用工学特論	1後	2			1	1						
	先進ロボティクス特論	1後	2			2	1						
	マンマシンインターフェース特論	1後	2			2	1						
	ロボット設計特論	1前	2			1	3						
	光応用工学特論	1前	2			1	2						
	システム統合工学コース専門科目	光計測・制御工学特論	1前	2			1						
		光波・超音波工学特論	1後	2			1						
通信システム工学特論		1前	2			1							
集積回路工学特論		1後	2				1						
信号処理工学特論		1前	2			1							
超伝導エレクトロニクス特論		1後	2				1						
レーザー工学・プラズマ工学特論		1後	2				1						
ソフトウェア開発工学特論		1後	2			1	1						
人工物設計学特論		1後	2			1	1						
感性・知能情報学特論		1前	2			1	2						
音声・音響情報処理特論		1前	2			1							
ビジュアルコンピューティング特論		1後	2			1	2						
離散構造システム特論		1後	2			1	1						
計算システム特論		1前	2			1	1						
知的メディア処理特論	1後	2			2								
コース共通科目	システム統合工学フィールドリサーチ	1・2通	2			23	30						
	システム統合工学特別演習Ⅰ	1通	2			23	30						
	システム統合工学特別演習Ⅱ	1通	2			23	30						
	小計(30科目)	-											
関連科目	高分子材料化学特論	1前	2			2	1						
	非平衡科学特論	1前	2			1	1						
	国際環境技術特論	1前	1			2	1						
	環境微生物学特論	1前	2								1		
	医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ	1前	1								2		
	生活健康学特論	1前	2								1		
	食品加工・栄養学特論	1前	2								2		
	小計(7科目)	-											
合計(41科目)	-												

卒業要件及び履修方法

大学院共通科目(必修)を2単位、専攻共通科目(必修)を2単位、コース専門科目からコース共通科目(必修)を4単位、分野専門科目(選択)を4単位、コース専門科目のうちいずれか(選択)を2単位以上修得し、14単位以上を修得すること。

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
<b>(システム統合工学コース)</b>													
共通大学院	科学者倫理学	1前	1									5	
	医工農総合特論	1後	1			1						4	
	小計(2科目)	-											
共通専攻	機能の現象学特論	1後	1			1							
	リスクマネジメント特論	1集中	1			1	1						
	小計(2科目)	-											
システムデザイン分野専門科目	熱物理工学特論	1後	2			1	2						
	乱流輸送工学特論	1後	2				2						
	先端材料学特論	1前	2			1	1						
	生産加工学特論	1前	2			1	1						
	振動制御特論	1後	2			1	1						
	輸送システム工学特論	1前	2			1	1						
	色工学特論(未開講)	1前	2			1							
	波動応用工学特論	1後	2			1	1						
	先進ロボティクス特論	1後	2			2	1						
	マンマシンインターフェース特論	1後	2			2	1						
	ロボット設計特論(未開講)	1前	2			1	3						
	光応用工学特論(未開講)	1前	2			1	2						
	システム統合工学コース専門科目	光計測・制御工学特論	1前	2			1						
		光波・超音波工学特論	1後	2			1						
通信システム工学特論		1前	2			1							
集積回路工学特論		1後	2				1						
信号処理工学特論		1後	2			1							
超伝導エレクトロニクス特論		1後	2				1						
レーザー工学・プラズマ工学特論		1後	2				1						
ソフトウェア開発工学特論		1後	2			1	1						
人工物設計学特論		1後	2			1	1					0	
感性・知能情報学特論		1後	2			1	2						
音声・音響情報処理特論		1後	2			1	0						
ビジュアルコンピューティング特論		1後	2			1	2						
離散構造システム特論		1後	2			1	1						
計算システム特論		1後	2			1	1						
知的メディア処理特論	1後	2			2								
コース共通科目	システム統合工学フィールドリサーチ	1・2通	2			24	26						
	システム統合工学特別演習Ⅰ	1通	2			24	26						
	システム統合工学特別演習Ⅱ	1通	2			24	26						
	小計(30科目)	-											
関連科目	高分子材料化学特論	1後	2			1	1						
	非平衡科学特論	1前	2			2	0						
	国際環境技術特論	1前	1			2	0					2	
	環境微生物学特論	1前	2								1		
	医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ	1前	1								2		
	生活健康学特論	1前	2								1		
	食品加工・栄養学特論	1前	2								2		
	小計(7科目)	-											
合計(41科目)	-												

卒業要件及び履修方法

大学院共通科目(必修)を2単位、専攻共通科目(必修)を2単位、コース専門科目からコース共通科目(必修)を4単位、分野専門科目(選択)を4単位、コース専門科目のうちいずれか(選択)を2単位以上修得し、14単位以上を修得すること。

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
(システム統合工学コース)												
共通科目	科学者倫理学	1前	1								5	
	医工農総合特論	1後	1			1					5	
	小計(2科目)	-										
共通専攻科目	機能の現象学特論	1後	1			1						
	リスクマネジメント特論	1集中	1			1	1					
	小計(2科目)	-										
システムデザイン分野専門科目	熱物理学特論(未開講)	1後	2			1	2					
	乱流輸送工学特論(未開講)	1後	2				2					
	先端材料科学特論	1前	2			1	2					
	生産加工学特論	1前	2			0	1					
	振動制御特論	1後	2			1	1					
	輸送システム工学特論	1前	2			1	1					
	色工学特論	1前	2			1						
	波動応用工学特論	1後	2			1	1					
	先進ロボティクス特論(未開講)	1後	2			2	1					
	マンマシンインターフェース特論(未開講)	1後	2			2	1					
	ロボット設計特論(未開講)	1前	2			1	3					
	光応用工学特論	1前	2			1	2					
	システム統合工学コース専門科目	光計測・制御工学特論(未開講)	1前	2			1					
		光波・超音波工学特論	1後	2			1					
		通信システム工学特論(未開講)	1前	2			1					
		集積回路工学特論	1後	2			1					
		信号処理工学特論	1後	2			1					
超伝導エレクトロニクス特論		1後	2			1						
レーザー工学・プラズマ工学特論		1後	2			1						
ソフトウェア開発工学特論(未開講)		1後	2			1	1					
人工物設計学特論		1後	2			1	1			1		
感性・知能情報学特論		1後	2			1	2					
音声・音響情報処理特論(未開講)		1後	2			1	1					
関連科目	高分子材料化学特論	1後	2			2	1					
	非平衡科学特論	1前	2			1	1					
	国際環境技術特論	1前	2			2	1					
	環境微生物学特論	1前	2							1		
	医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ	1前	1							2		
	生活健康学特論	1前	2							1		
	食品加工・栄養学特論	1前	2							2		
小計(7科目)	-											
合計(41科目)	-											

卒業要件及び履修方法

大学院共通科目(必修)を2単位、専攻共通科目(必修)を2単位、コース専門科目からコース共通科目(必修)を4単位、分野専門科目(選択)を4単位、コース専門科目のうちいずれか(選択)を2単位以上修得し、14単位以上を修得すること。

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
(システム統合工学コース)												
共通科目	科学者倫理学	1前	1								5	
	医工農総合特論	1後	1			1					5	
	小計(2科目)	-										
共通専攻科目	機能の現象学特論	1後	1			1						
	リスクマネジメント特論	1集中	1			1	1					
	小計(2科目)	-										
システムデザイン分野専門科目	熱物理学特論	1後	2			1	2					
	乱流輸送工学特論	1後	2				2					
	先端材料科学特論	1前	2			1	2					
	生産加工学特論	1前	2			0	1					
	振動制御特論	1後	2			1	1					
	輸送システム工学特論(未開講)	1前	2			1	1					
	色工学特論	1前	2			1						
	波動応用工学特論	1後	2			1	1					
	先進ロボティクス特論	1後	2			2	1					
	マンマシンインターフェース特論	1後	2			2	1					
	ロボット設計特論(未開講)	1前	2			1	3					
	光応用工学特論	1前	2			1	2					
	システム統合工学コース専門科目	光計測・制御工学特論	1前	2			1					
		光波・超音波工学特論	1後	2			1					
		通信システム工学特論	1前	2			1					
		集積回路工学特論	1後	2			1					
		信号処理工学特論	1後	2			1					
超伝導エレクトロニクス特論		1後	2			1						
レーザー工学・プラズマ工学特論		1後	2			1						
ソフトウェア開発工学特論		1後	2			1	1					
人工物設計学特論		1後	2			1	1			1		
感性・知能情報学特論		1後	2			1	2					
音声・音響情報処理特論		1後	2			1	0					
関連科目	高分子材料化学特論	1後	2			2	1					
	非平衡科学特論	1前	2			1	1					
	国際環境技術特論	1前	2			2	1					
	環境微生物学特論	1前	2							1		
	医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ	1前	1							2		
	生活健康学特論	1前	2							1		
	食品加工・栄養学特論	1前	2							2		
小計(7科目)	-											
合計(41科目)	-											

卒業要件及び履修方法

大学院共通科目(必修)を2単位、専攻共通科目(必修)を2単位、コース専門科目からコース共通科目(必修)を4単位、分野専門科目(選択)を4単位、コース専門科目のうちいずれか(選択)を2単位以上修得し、14単位以上を修得すること。

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
<b>(エネルギー物質科学コース)</b>											
共大目通学科院	科学者倫理学	1前	1								5
	医工農総合特論	1後	1			1					5
	小計(2科目)	-									
共通専攻科目	機能の現象学特論	1後	1			1					
	リスクマネジメント特論	1集中	1			1	1				
	小計(2科目)	-									
エネルギー物質科学コース専門科目	無機材料化学特論	1前		2			2				
	無機材料物性特論	1前		2		1	1				
	有機機能性分子化学特論	1前		2		1	2				
	機能計測化学特論	1前		2			1				0
	高分子材料化学特論	1前		2		2	1				
	応用電子化学特論	1後		2		2					
	固体材料化学特論	1後		2			2				
	量子材料化学特論	1後		2			2				
	結晶機能工学特論	1前		2		1	1				
	半導体デバイス工学特論	1後		2		1	1				
	量子電子デバイス工学特論	1後		2		2	2				1
	量子物理学特論	1後		2		1					
	固体材料科学特論	1前		2			2				
	光電子量子機能特論	1前		2			3				
	集積化回路システム特論	1後		2			2				
	光量子工学特論	1前		2		1	1				0
	計測機器工学特論	1前		2			2				
	燃料電池設計特論	1後		2		2	1				
	電極触媒設計特論	1後		2		2	1				
	太陽エネルギー変換工学特論	1前		2		1	1				
材料化学工学特論	1前		2		1						
先端無機材料設計特論	1後		2		3						
表面・界面科学特論	1前		2		2						
グリーンエネルギー科学・技術英語特論上級	1前		2		2						
グローバルインターンシップ	1・2通	2									
エネルギー物質科学フィールド・リサーチ	1・2通	2			28	28		3			
エネルギー物質科学特別演習Ⅰ	1通	2			28	28		3			
エネルギー物質科学特別演習Ⅱ	1通	2			28	28		3			
小計(28科目)	-										
関連科目	非平衡科学特論	1前		2		1	1				
	国際環境技術特論	1前		1		2	1				
	環境微生物学特論	1前		2							1
	医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ	1前		1							2
	生活健康学特論	1前		2							1
	食品加工・栄養学特論	1前		2							2
小計(6科目)	-										
合計(38科目)	-										

卒業要件及び履修方法

(物質科学分野、電子デバイス分野)  
 大学院共通科目(必修)を2単位、専攻共通科目(必修)を2単位、コース専門科目からコース共通科目(必修)を4単位、分野専門科目(選択)を4単位、コース専門科目のうちいずれか(選択)を2単位以上修得し、14単位以上を修得すること。  
 (グリーンエネルギー変換工学分野)  
 大学院共通科目(必修)を2単位、専攻共通科目(必修)を2単位、コース専門科目からコース共通科目(必修)を4単位、分野専門科目(必修)を2単位、分野専門科目(選択)を2単位、コース専門科目のうちいずれか(選択)を2単位以上修得し、14単位以上を修得すること。

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
<b>(エネルギー物質科学コース)</b>											
共大目通学科院	科学者倫理学	1前	1								5
	医工農総合特論	1後	1								4
	小計(2科目)	-									
共通専攻科目	機能の現象学特論	1後	1			1					
	リスクマネジメント特論	1集中	1			1	1				
	小計(2科目)	-									
エネルギー物質科学コース専門科目	無機材料化学特論	1前		2			2				
	無機材料物性特論	1後		2		1	1				
	有機機能性分子化学特論	1前		2		1	1				
	機能計測化学特論	1前		2			1				0
	高分子材料化学特論	1後		2		2	1				
	応用電子化学特論	1前		2			2				
	固体材料化学特論	1後		2			2				3
	量子材料化学特論	1前		2			2				2
	結晶機能工学特論	1前		2		1	1				
	半導体デバイス工学特論	1後		2		1	1				
	量子電子デバイス工学特論	1後		2		2	2				1
	量子物理学特論	1後		2		1					
	固体材料科学特論	1後		2			2				
	光電子量子機能特論	1前		2			3				
	集積化回路システム特論	1前		2			2				
	光量子工学特論	1後		2		1	1				0
	計測機器工学特論	1前		2			2				
	燃料電池設計特論	1後		2		2	1				3
	電極触媒設計特論	1後		2		2	1				1
	太陽エネルギー変換工学特論	1前		2		1	1				
材料化学工学特論	1後		2		1						
先端無機材料設計特論	1前		2		3						
表面・界面科学特論	1前		2		2						
グリーンエネルギー科学・技術英語特論上級	1前		2		2					1	
グローバルインターンシップ	1・2通	2									
エネルギー物質科学フィールド・リサーチ	1・2通	2			22	27		1			
エネルギー物質科学特別演習Ⅰ	1通	2			22	27		1			
エネルギー物質科学特別演習Ⅱ	1通	2			22	27		1			
小計(28科目)	-										
関連科目	非平衡科学特論	1前		2		2	0				
	国際環境技術特論	1前		2		2	0				2
	環境微生物学特論	1前		2							1
	医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ	1前		1							2
	生活健康学特論	1前		2							1
	食品加工・栄養学特論	1前		2							2
小計(6科目)	-										
合計(38科目)	-										

卒業要件及び履修方法

(物質科学分野、電子デバイス分野)  
 大学院共通科目(必修)を2単位、専攻共通科目(必修)を2単位、コース専門科目からコース共通科目(必修)を4単位、分野専門科目(選択)を4単位、コース専門科目のうちいずれか(選択)を2単位以上修得し、14単位以上を修得すること。  
 (グリーンエネルギー変換工学分野)  
 大学院共通科目(必修)を2単位、専攻共通科目(必修)を2単位、コース専門科目からコース共通科目(必修)を4単位、分野専門科目(必修)を2単位、分野専門科目(選択)を2単位、コース専門科目のうちいずれか(選択)を2単位以上修得し、14単位以上を修得すること。

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
<b>(エネルギー物質科学コース)</b>											
共大目通学院	科学者倫理学	1前	1								5
	医工農総合特論	1後	1			1					5
	小計(2科目)	-									
共通専攻目	機能の現象学特論	1後	1			1					
	リスクマネジメント特論	1集中	1			1	1				
	小計(2科目)	-									
エネルギー物質科学コース専門科目	無機材料化学特論	1前		2			2				
	無機材料物性特論	1後		2		1	1				
	有機機能性分子化学特論	1前		2		1	2				
	機能計測化学特論	1前		2			1		1		
	高分子材料化学特論	1後		2		2	1				
	応用電子化学特論	1前		2		2					
	固体材料化学特論	1後		2			2				
	量子材料化学特論	1前		2			2				
	結晶機能工学特論	1前		2		1	1				
	半導体デバイス工学特論	1後		2		1	1				
	量子電子デバイス工学特論	1後		2		2	2		1		
	量子物理学特論(未開講)	1後		2		1					
	固体材料科学特論	1後		2			2				
	光電子量子機能特論	1前		2			3				
	集積化回路システム特論(未開講)	1前		2			2				
光量子工学特論(未開講)	1後		2		1	0					
計測機器工学特論	1前		2			2					
変換グリーンエネルギー工学分野専門科目	燃料電池設計特論(未開講)	1後		2		3	1				
	電極触媒設計特論(未開講)	1後		2		2	2				
	太陽エネルギー変換工学特論(未開講)	1前		2		1	1				
	材料化学工学特論	1後		2		1					
	先端無機材料設計特論	1後		2		3					
	表面・界面科学特論(未開講)	1前		2		3					
	グリーンエネルギー科学・技術英語特論上級	1前		2		2					
	グローバルインターンシップ	1・2通	2								
	エネルギー物質科学フィールド・リサーチ	1・2通	2			27	27		4		
	エネルギー物質科学特別演習Ⅰ	1通	2			27	27		4		
エネルギー物質科学特別演習Ⅱ	1通	2			27	27		4			
小計(28科目)	-										
関連科目	非平衡科学特論	1前		2		1	1				
	国際環境技術特論	1前		2		2	1				
	環境微生物学特論	1前		2						1	
	医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ	1前		1						2	
	生活健康学特論	1前		2						1	
	食品加工・栄養学特論	1前		2						2	
小計(6科目)	-										
合計(38科目)	-										
卒業要件及び履修方法											
<small>(物質科学分野・電子デバイス分野)                  大学院共通科目(必修)を2単位、専攻共通科目(必修)を2単位、コース専門科目からコース共通科目(必修)を4単位、分野専門科目(選択)を4単位、コース専門科目のうちいずれか(選択)を2単位以上修得し、14単位以上を修得すること。                  (グリーンエネルギー変換工学分野)                  大学院共通科目(必修)を2単位、専攻共通科目(必修)を2単位、コース専門科目からコース共通科目(必修)を4単位、分野専門科目(必修)を2単位、分野専門科目(選択)を2単位、コース専門科目のうちいずれか(選択)を2単位以上修得し、14単位以上を修得すること。</small>											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
<b>(エネルギー物質科学コース)</b>											
共大目通学院	科学者倫理学	1前	1								5
	医工農総合特論	1後	1			1					5
	小計(2科目)	-									
共通専攻目	機能の現象学特論	1後	1			1					
	リスクマネジメント特論	1集中	1			1	1				
	小計(2科目)	-									
エネルギー物質科学コース専門科目	無機材料化学特論	1前		2			2				
	無機材料物性特論	1後		2		1	1				
	有機機能性分子化学特論	1前		2		1	2		1		
	機能計測化学特論(未開講)	1前		2			1			0	
	高分子材料化学特論	1後		2		2	1				
	応用電子化学特論	1前		2		2					
	固体材料化学特論	1後		2			2				
	量子材料化学特論	1前		2			2				
	結晶機能工学特論(未開講)	1前		2		1	1				
	半導体デバイス工学特論	1後		2		1	1				
	量子電子デバイス工学特論	1後		2		2	2		1	1	
	量子物理学特論	1後		2		1					
	固体材料科学特論	1後		2			2				
	光電子量子機能特論	1前		2			3				
	集積化回路システム特論	1前		2			2				
光量子工学特論	1後		2		1	0					
計測機器工学特論(未開講)	1前		2			2					
変換グリーンエネルギー工学分野専門科目	燃料電池設計特論	1後		2		3	1				
	電極触媒設計特論	1後		2		2	1				
	太陽エネルギー変換工学特論	1前		2		1	1				
	材料化学工学特論	1後		2		1					
	先端無機材料設計特論(未開講)	1前		2		3					
	表面・界面科学特論	1前		2		3					
	グリーンエネルギー科学・技術英語特論上級	1前		2		2			1		
	グローバルインターンシップ	1・2通	2								
	エネルギー物質科学フィールド・リサーチ	1・2通	2			25	24		4		
	エネルギー物質科学特別演習Ⅰ	1通	2			25	24		4		
エネルギー物質科学特別演習Ⅱ	1通	2			25	24		4			
小計(28科目)	-										
関連科目	非平衡科学特論	1前		2		2	0				
	国際環境技術特論	1前		2		2	1				
	環境微生物学特論	1前		2						1	
	医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ	1前		1						2	
	生活健康学特論	1前		2						1	
	食品加工・栄養学特論	1前		2						2	
小計(6科目)	-										
合計(38科目)	-										
卒業要件及び履修方法											
<small>(物質科学分野・電子デバイス分野)                  大学院共通科目(必修)を2単位、専攻共通科目(必修)を2単位、コース専門科目からコース共通科目(必修)を4単位、分野専門科目(選択)を4単位、コース専門科目のうちいずれか(選択)を2単位以上修得し、14単位以上を修得すること。                  (グリーンエネルギー変換工学分野)                  大学院共通科目(必修)を2単位、専攻共通科目(必修)を2単位、コース専門科目からコース共通科目(必修)を4単位、分野専門科目(必修)を2単位、分野専門科目(選択)を2単位、コース専門科目のうちいずれか(選択)を2単位以上修得し、14単位以上を修得すること。</small>											

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
<b>(環境社会システム学コース)</b>											
共大目通学	科学者倫理学	1前	1								5
	医工農総合特論	1後	1			1					5
	小計(2科目)	-									
共通専攻	機能の現象学特論	1後	1			1					
	リスクマネジメント特論	1集中	1			1	1				
	小計(2科目)	-									
環境社会システム学コース専門科目	シビルマナジメ	1後	2			2					
	防災減災学特論	1前	2			1	1				
	地域都市デザイン特論	1前	2				2				
	インフラ工学特論	1前	2				1	1			
	環境衛生工学特論	1前	2			1	1				
	インフラマネジメント特論	1後	2			1	1				
	国際環境技術特論	1前	1			2	1				
	陸水水質評価特論	1後	2			3	1				
	水文水資源学特論	1前	2			2	2				
	環境浄化技術特論	1後	2			1	2				
	流域管理特論	1後	2			1	2				1
	環境データ分析特論	1前	1			1	1			1	
リモートセンシングと地理情報特論	1後	1			1	1			1		
環境社会システム学コース専門科目	非平衡科学特論	1前	2			1	1				
	環境数理解析特論	1前	2			2	1				
	環境材料化学特論	1後	2				1				
	大気圏環境システム特論	1後	2				2				
	社会数理シミュレーション特論	1前	2				2				
	生物環境共生学特論	2前	2			1	1				
	生命生態特論	1前	2			2	1				
	環境ガバナンス特論	1後	2			1	1				
	政策評価特論	1後	2			1	3				
	コース共通科目	1・2通	2			17	24		3		
環境社会システム学フィールド・リサーチ	1通	2				17	24		3		
環境社会システム学特別演習 I	1通	2				17	24		3		
環境社会システム学特別演習 II	1通	2				17	24		3		
小計(24科目)	-										
関連科目	高分子材料化学特論	1前	2			2	1				1
	環境微生物学特論	1前	2								2
	医療データ解析・臨床疫学特論 I	1前	1								1
	生活健康学特論	1前	2								2
	食品加工・栄養学特論	1前	2								2
	小計(5科目)	-									
合計(33科目)	-										
卒業要件及び履修方法											
大学院共通科目(必修)を2単位、専攻共通科目(必修)を2単位、コース専門科目からコース共通科目(必修)を4単位、科目区分A及びC、またはB及びCを6単位以上修得し、14単位以上を修得すること。											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
<b>(環境社会システム学コース)</b>											
共大目通学	科学者倫理学	1前	1								5
	医工農総合特論	1後	1			1					4
	小計(2科目)	-									
共通専攻	機能の現象学特論	1後	1			1					
	リスクマネジメント特論	1集中	1			1	1				
	小計(2科目)	-									
環境社会システム学コース専門科目	シビルマナジメ	1後	2			2	1				
	防災減災学特論	1後	2			2	0	2			
	地域都市デザイン特論	1後	2				2				
	インフラ工学特論	1後	2				2				
	環境衛生工学特論	1前	2			2	0				
	インフラマネジメント特論	1後	2			1	1				
	国際環境技術特論	1前	2			2	0				2
	陸水水質評価特論	1後	2			3	0				
	水文水資源学特論	1前	2			2	1	1			
	環境浄化技術特論	1後	2			2	1				
	流域管理特論	1後	2			2	0	2			1
	環境データ分析特論	1前	2			2	1			1	
リモートセンシングと地理情報特論	1後	2			1	1			0		
環境社会システム学コース専門科目	非平衡科学特論	1前	2			2	0				
	環境数理解析特論	1前	2			2	1				1
	環境材料化学特論	1前	2				0				1
	大気圏環境システム特論	1後	2				2				
	社会数理シミュレーション特論	1後	2				2				
	生物環境共生学特論	2前	2			1	1				
	生命生態特論	1後	2			2	1				
	環境ガバナンス特論	1後	2			1	1				
	政策評価特論	1前	2			1	2				1
	生物資源特論	1前	2			0	1			1	1
コース共通科目	1・2通	2			18	20			2		
環境社会システム学フィールド・リサーチ	1通	2				18	20		2		
環境社会システム学特別演習 I	1通	2				18	20		2		
環境社会システム学特別演習 II	1通	2				18	20		2		
小計(25科目)	-										
関連科目	高分子材料化学特論	1後	2			1	1				1
	環境微生物学特論	1前	2								2
	医療データ解析・臨床疫学特論 I	1前	1								1
	生活健康学特論	1前	2								2
	食品加工・栄養学特論	1前	2								2
	小計(5科目)	-									
合計(34科目)	-										
卒業要件及び履修方法											
大学院共通科目(必修)を2単位、専攻共通科目(必修)を2単位、コース専門科目からコース共通科目(必修)を4単位、科目区分A及びC、またはB及びCを6単位以上修得し、14単位以上を修得すること。											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
<b>(環境社会システム学コース)</b>												
共大目通学	科学者倫理学	1前	1								5	
	医工農総合特論 小計(2科目)	1後	1			1					5	
共通専攻	機能の現象学特論	1後	1			1						
	リスクマネジメント特論 小計(2科目)	1集中	1			1	1					
環境社会システム学コース専門科目	シビルマナジエント工学分野専門科目	防災減災学特論	1後	2		2						
	地域都市デザイン特論(未開講)	1後	2		1	1						
	インフラ工学特論	1後	2			2						
	環境衛生工学特論(未開講)	1前	2		1	1						
	インフラマネジメント特論	1後	2		1	1						
	流域環境科学分野	国際環境技術特論	1前	2		2	1					
		陸水水質評価特論	1後	2		3	1					
		水文水資源学特論(未開講)	1前	2		2	2					
		環境浄化技術特論	1後	2		1	2					
		流域管理特論	1後	2		1	2					1
	環境データ分析特論	1前	2		1	1						
	リモートセンシングと地理情報特論	1後	2		1	1			1			
	環境社会システム学コース専門科目	非平衡科学特論	1前	2		1	1					
		環境数理解析特論(未開講)	1前	2		3	1					
		環境材料化学特論(未開講)	1前	2			1					1
大気圏環境システム特論(未開講)		1後	2			2						
社会数理シミュレーション特論		1後	2			2						
生物環境共生学特論(未開講)		2前	2		1	1						
生命生態特論		1後	2		2	1						
環境ガバナンス特論 政策評価特論(未開講)	1後 1前	2 2		1 1	1 3					1		
コース共通科目	環境社会システム学フィールド・リサーチ	1・2通	2		18	25		4				
	環境社会システム学特別演習Ⅰ	1通	2		18	25		4				
	環境社会システム学特別演習Ⅱ	1通	2		18	25		4				
	小計(24科目)											
関連科目	高分子材料化学特論	1後	2		2	1					1	
	環境微生物学特論	1前	2								2	
	医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ	1前	1								1	
	生活健康学特論	1前	2								1	
	食品加工・栄養学特論	1前	2								2	
	小計(5科目)											
合計(33科目)												

卒業要件及び履修方法

大学院共通科目(必修)を2単位、専攻共通科目(必修)を2単位、コース専門科目からコース共通科目(必修)を4単位、科目区分A及びC、またはB及びCを6単位以上修得し、14単位以上を修得すること。

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
<b>(環境社会システム学コース)</b>												
共大目通学	科学者倫理学	1前	1								5	
	医工農総合特論 小計(2科目)	1後	1			1					5	
共通専攻	機能の現象学特論	1後	1			1						
	リスクマネジメント特論 小計(2科目)	1集中	1			1	1					
環境社会システム学コース専門科目	シビルマナジエント工学分野専門科目	防災減災学特論	1後	2		2						
	地域都市デザイン特論(未開講)	1後	2			0	2					
	インフラ工学特論	1後	2			2						
	環境衛生工学特論(未開講)	1前	2			2	0					
	インフラマネジメント特論	1後	2		1	1						
	流域環境科学分野	国際環境技術特論	1前	2		2	1					
		陸水水質評価特論	1後	2		3	0					
		水文水資源学特論(未開講)	1前	2		2	1					
		環境浄化技術特論	1後	2		2	1					
		流域管理特論	1後	2		0	2					1
	環境データ分析特論	1前	2		2	1				1		
	リモートセンシングと地理情報特論	1後	2		2	0				1		
	環境社会システム学コース専門科目	非平衡科学特論	1前	2		2	0					
		環境数理解析特論(未開講)	1前	2		3	1					
		環境材料化学特論(未開講)	1前	2			0					1
大気圏環境システム特論		1後	2			2						
社会数理シミュレーション特論		1後	2			2						
生物環境共生学特論(未開講)		2前	2		1	1						
生命生態特論		1後	2		1	2						
環境ガバナンス特論 政策評価特論 生物資源特論(未開講)	1後 1前 1前	2 2 2		1 1 1	1 2 1					1		
コース共通科目	環境社会システム学フィールド・リサーチ	1・2通	2		20	20		3				
	環境社会システム学特別演習Ⅰ	1通	2		20	20		3				
	環境社会システム学特別演習Ⅱ	1通	2		20	20		3				
	小計(25科目)											
関連科目	高分子材料化学特論	1後	2		2	1					1	
	環境微生物学特論	1前	2								2	
	医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ	1前	1								1	
	生活健康学特論	1前	2								1	
	食品加工・栄養学特論	1前	2								2	
	小計(5科目)											
合計(34科目)												

卒業要件及び履修方法

大学院共通科目(必修)を2単位、専攻共通科目(必修)を2単位、コース専門科目からコース共通科目(必修)を4単位、科目区分A及びC、またはB及びCを6単位以上修得し、14単位以上を修得すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
  - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

【配当年次の変更】

・教育効果を高めること及び10月入学者の教育の充実を図るため、以下の科目の配当年次を見直した。

○「1前」から「1後」に変更：13科目

- ・「信号処理工学特論」・「感性・知能情報学特論」・「音声・音響情報処理特論」・「計算システム特論」・「無機材料物性特論」
- ・「高分子材料化学特論」・「固体材料科学特論」・「光量子工学特論」・「材料化学工学特論」・「地域都市デザイン特論」
- ・「インフラ工学特論」・「社会数理シミュレーション特論」・「生命生態特論」

○「1後」から「1前」に変更：5科目

- ・「応用電子化学特論」・「量子材料化学特論」・「集積化回路システム特論」・「環境材料化学特論」・「政策評価特論」

【専任教員等の配置】

- ・研究教育拡充のため、「熱物理学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1・准教授2」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「先端材料学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1・准教授2」に変更。
- ・担当教員就任辞退により、「生産加工学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「人工物設計学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1・准教授1・兼任・兼任1」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「音声・音響情報処理特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・担当教員就任辞退により、「システム統合工学フィールドリサーチ」「システム統合工学特別演習Ⅰ」「システム統合工学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授23・准教授30」から「教授22・准教授30」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「機能計測化学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1・助教1」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「量子電子デバイス工学特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授2」から「教授2・准教授2・助教1」に変更。
- ・担当教員急逝により、「光量子工学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「燃料電池設計特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授3・准教授1」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「電極触媒設計特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授2・准教授2」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「表面・界面科学特論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
- ・担当教員就任辞退及び教育体制を維持するため、「エネルギー物質科学フィールドリサーチ」「エネルギー物質科学特別演習Ⅰ」「エネルギー物質科学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授28・准教授28・助教3」から「教授27・准教授27・助教4」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「環境数理解析特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授3・准教授1」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「環境社会システム学フィールドリサーチ」「環境社会システム学特別演習Ⅰ」「環境社会システム学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授17・准教授24・助教3」から「教授18・准教授25・助教4」に変更。

【単位数の変更】

- ・教育内容の充実を図るため、「国際環境技術特論」「環境データ分析特論」「リモートセンシングと地理情報特論」の単位数を「1単位」から「2単位」に変更。

【令和元年度】

【配当年次の変更】

- ・教育効果を高めるため、「先端無機材料設計特論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。

【専任教員等の配置】

- ・教育研究体制を維持するため、「生産加工学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の退職により、「先進ロボティクス特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「音声・音響情報処理特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職・辞職により、「システム統合工学フィールドリサーチ」「システム統合工学特別演習Ⅰ」「システム統合工学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授22・准教授30」から「教授21・准教授30」に変更。
- ・担当教員の退職・昇任により、「有機機能性分子化学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授2」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「機能計測化学特論」の専任教員等の配置を「准教授1・助教1」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「量子電子デバイス工学特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授2・助教1」から「教授1・准教授2・助教1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「電極触媒設計特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授2」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「グリーンエネルギー科学・技術英語特論上級」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職・辞職により、「エネルギー物質科学フィールドリサーチ」「エネルギー物質科学特別演習Ⅰ」「エネルギー物質科学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授27・准教授27・助教4」から「教授25・准教授24・助教4」に変更。
- ・担当教員の退職により、「地域都市デザイン特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「環境衛生工学特論」の専任教員等を「教授1・准教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の退職により、「陸水水質評価特論」の専任教員等の配置を「教授3・准教授1」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職・昇任により、「水文水資源学特論」の専任教員等を「教授2・准教授2」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「環境浄化技術特論」の専任教員等を「教授1・准教授2」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「流域管理特論」の専任教員等を「教授1・准教授2・兼任・兼任1」から「准教授2・兼任・兼任1」に変更。
- ・教育研究体制を維持するため、「環境データ分析特論」の専任教員等を「教授1・准教授1」から「教授1・准教授2・助教1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「環境材料化学特論」の専任教員等を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の変更及び教育研究体制を維持するため、「生命生態特論」の専任教員等を「教授2・准教授1」から「教授1・准教授2」に変更。
- ・担当教員の退職により、「政策評価特論」の専任教員等を「教授1・准教授3」から「教授1・准教授2・兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職・辞職により、「環境社会システム学フィールドリサーチ」「環境社会システム学特別演習Ⅰ」「環境社会システム学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授18・准教授25・助教4」から「教授16・准教授23・助教4」に変更。

【新規科目の追加】

- ・教育研究の充実を図るため、「生物資源特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・助教1」として科目を新設した。

**【令和2年度】**

**【専任教員等の配置】**

- ・ 担当教員の退職により、「医工農総合特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼任5」から「教授1・兼任4」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「先端材料学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授2」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「振動制御特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授2・准教授0」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「ソフトウェア開発工学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授2・准教授0」に変更。
- ・ 担当教員の就任辞退により、「人工物設計学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・兼任1」から「教授1・准教授1・兼任・兼任0」に変更。
- ・ 担当教員の退職により、「マンマシンインターフェース特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の就任辞退により、「人工物設計学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・兼任1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「感性・知能情報学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授2」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の退職・昇任により、「システム統合工学フィールドリサーチ」「システム統合工学特別演習Ⅰ」「システム統合工学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授21・准教授30」から「教授24・准教授26」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「機能計測化学特論」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の退職により、「高分子材料化学特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・ 研究教育拡充のため、「固体材料化学特論」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・ 研究教育拡充のため、「電極触媒設計特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授3・准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の退職により、「グリーンエネルギー科学・技術英語特論上級」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・ 担当教員の退職・辞職により、「エネルギー物質科学フィールド・リサーチ」「エネルギー物質科学特別演習Ⅰ」「エネルギー物質科学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授25・准教授24・助教4」から「教授22・准教授27・助教1」に変更。
- ・ 研究教育拡充のため、「防災減災学特論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の就任辞退、研究教育拡充のため、「国際環境技術特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授2・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「陸水水質評価特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授3」に変更。
- ・ 担当教員の退職により、「水文水資源学特論」の専任教員等を「教授2・准教授1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「環境データ分析特論」の専任教員等を「教授1・准教授2・助教1」から「教授2・准教授1・助教1」に変更。
- ・ 担当教員の退職・昇任により、「リモートセンシングと地理情報特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・助教1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「非平衡科学特論」の専任教員等を「教授1・准教授1」から「教授2・准教授0」に変更。
- ・ 担当教員の辞職により、「環境数理解析特論」の専任教員等を「教授3・准教授1」から「教授2・准教授1・兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の昇任により、「生命生態特論」の専任教員等を「教授1・准教授2」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の辞職により、令和元年度新設の「生物資源特論」の専任教員等を「教授1・准教授1・助教1」から「准教授1・助教1・兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の退職・昇任により、「環境社会システム学フィールド・リサーチ」「環境社会システム学特別演習Ⅰ」「環境社会システム学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授16・准教授23・助教4」から「教授18・准教授20・助教2」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
11 科目	75 科目	0 科目	86 科目	11 科目 [ 0 ]	76 科目 [ 1 ]	0 科目 [ 0 ]	87 科目 [ 1 ]	「生物資源特論」の科目を新設。

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{86} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	土地の購入及び売却の ため(2) 駐車場の新設及び廃 止、土地売却のため (元)		
	校 舎 敷 地	242,184㎡ 243,541㎡	0㎡	0㎡	242,184㎡ 243,541㎡			
	運 動 場 用 地	73,302㎡	0㎡	0㎡	73,302㎡			
	小 計	315,486㎡ 316,843㎡	0㎡	0㎡	315,486㎡ 316,843㎡			
	そ の 他	253,792㎡ 252,832㎡ 252,708㎡	0㎡	0㎡	253,792㎡ 252,832㎡ 252,708㎡			
	合 計	569,278㎡ 568,318㎡ 569,551㎡	0㎡	0㎡	569,278㎡ 568,318㎡ 569,551㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	施設の新設及び面積修 正のため(元)		
		133,563㎡ 132,992㎡ (133,563㎡) (132,992㎡)	0㎡	0㎡	133,563㎡ 132,992㎡ (133,563㎡) (132,992㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	用途変更のため(元・ 2)	
		69室 70室 111室	51室 53室 28室	152室 202室	4室 7室 (補助職員 人)	0室 1室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		室名称変更のため (元・2)		
		医工農学総合教育部 工学専攻(博士課程)		130 135 124	室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	○図書：購入数が廃棄 数を上回ったため (2) ○学術雑誌・電子 ジャーナル契約パッ ッケージの変更(増加) のため(2) ○図書：蔵書の整理に より、廃棄数が購入数 を上回ったため(元) ○学術雑誌・電子 ジャーナル：購読中 止・廃棄等による減少 及びH31.4月より電子 ジャーナルパッケージ の追加のため(元) ○視聴覚資料：新規購 入のため(元・2) ○機械・器具：更新・ 廃棄などの設備整理の ため(元・2)
	工学専攻 (博士課程)	563,780 [166,079] 560,339 [166,154] 564,362 [167,701] (563,780 [166,079]) (560,339 [166,154]) (564,362 [167,701])	42,746 [33,221] 41,777 [32,318] 25,224 [15,769] (42,746 [33,221]) (41,777 [32,318]) (25,224 [15,769])	29,398 [29,398] 28,520 [28,520] 11,986 [11,985] (29,398 [29,398]) (28,520 [28,520]) (11,986 [11,985])	5,073 5,014 4,972 (5,073) (5,014) (4,972)	8,034 7,854 8,217 (8,034) (7,854) (8,217)	14 (14)	
	計	563,780 [166,079] 560,339 [166,154] 564,362 [167,701] (563,780 [166,079]) (560,339 [166,154]) (564,362 [167,701])	42,746 [33,221] 41,777 [32,318] 25,224 [15,769] (42,746 [33,221]) (41,777 [32,318]) (25,224 [15,769])	29,398 [29,398] 28,520 [28,520] 11,986 [11,985] (29,398 [29,398]) (28,520 [28,520]) (11,986 [11,985])	5,073 5,014 4,972 (5,073) (5,014) (4,972)	8,034 7,854 8,217 (8,034) (7,854) (8,217)	14 (14)	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		7,055㎡	523	576,445				
(7) 体 育 館		面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
		2,743㎡	野球場2面 テニスコート17面		小体育館、武道場、弓道場、 プールほか			
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持 方法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地に別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	山梨大学										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
教育学部											
学校教育課程	4	125	-	500	学士(教育)	1.05	1.07	-	平成10	山梨県甲府市武田4-4-37	
医学部											
医学科	6	125	-	750	学士(医学)	1.00	1.00	令和2	昭和55	山梨県中央市下河東1110	
看護学科	4	60	-	240	学士(看護学)	0.92	1.00	-	平成7	山梨県中央市下河東1110	
工学部											
機械工学科	4	55	3年次 10	240	学士(工学)	0.98	0.96	-	平成24	山梨県甲府市武田4-3-11	
ロボット工学科	4	55	-	220	学士(工学)	1.02	1.07	-	平成24	山梨県甲府市武田4-3-11	令和2年度より学科名称変更
電気電子工学科	4	55	3年次 5	230	学士(工学)	1.01	0.98	-	平成24	山梨県甲府市武田4-3-11	
コンピュータ理工学科	4	55	3年次 5	230	学士(工学)	0.99	0.98	-	平成24	山梨県甲府市武田4-3-11	
土木環境工学科	4	55	-	220	学士(工学)	1.06	1.07	-	平成24	山梨県甲府市武田4-3-11	
応用化学科	4	55	-	220	学士(工学)	1.02	0.98	-	平成24	山梨県甲府市武田4-3-11	
先端材料理工学科	4	35	-	140	学士(工学)	1.05	1.00	-	平成24	山梨県甲府市武田4-3-11	
生命環境学部											
生命工学科	4	35	-	140	学士(生命工学)	1.02	1.05	-	平成24	山梨県甲府市武田4-4-37	
地域食物科学科	4	37	-	148	学士(農学)	1.00	0.97	-	平成24	山梨県甲府市武田4-4-37	
環境科学科	4	30	-	120	学士(環境科学)	1.05	1.06	-	平成24	山梨県甲府市武田4-4-37	
地域社会システム学科	4	48	-	192	学士(社会科学)	1.01	0.97	-	平成24	山梨県甲府市武田4-4-37	
大学全体	-	825	20	3,590	-	-	1.01	-	-	-	

大学の名称	山梨大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
教育学研究科											
教育実践創成専攻	2	38	-	76	教職修士(専門職)	0.98	1.05	-	平成22	山梨県甲府市武田4-4-37	令和元年度より入学定員14人→38人
医工農学総合教育部											
【修士課程】											
生命医科学専攻	2	10	-	20	修士(医科学)	1.30	1.60	-	平成28	山梨県中央市下河東1110	
看護学専攻	2	14	-	28	修士(看護学)	0.60	0.57	-	平成28	山梨県中央市下河東1110	
工学専攻	2	181	-	362	修士(工学)	0.88	0.81	-	平成28	山梨県甲府市武田4-3-11	
生命環境学専攻	2	45	-	90	修士(農学) 修士(学術)	0.95	0.86	-	平成28	山梨県甲府市武田4-4-37	
【博士課程】											
医学専攻	4	20	-	80	博士(医学)	1.40	1.35	-	平成30	山梨県中央市下河東1110	
工学専攻	3	23	-	69	博士(工学) 博士(学術)	0.96	0.39	-	平成30	山梨県甲府市武田4-3-11	
統合応用生命科学専攻	3	10	-	30	博士(農学) 博士(生命医科学) 博士(生命工学)	1.23	1.20	-	平成30	山梨県甲府市武田4-4-37 及び 山梨県中央市下河東1110	
ヒューマンヘルスケア学専攻	3	4	-	12	博士(看護学)	0.91	1.00	-	平成15	山梨県中央市下河東1110	
先進医療科学専攻	4	-	-	-	博士(医学)	1.23	-	-	平成15	山梨県中央市下河東1110	平成30年度より学生募集停止
生体制御学専攻	4	-	-	-	博士(医学)	0.40	-	-	平成15	山梨県中央市下河東1110	平成30年度より学生募集停止
大学院全体	-	345	-	767	-	-	0.98	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<医工農学総合教育部 工学専攻（博士課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】			【令和2年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	岡澤 重信 <平成30年4月> 博士(工学)									
		・輸送システム工学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ			・輸送システム工学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ			・輸送システム工学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ			・輸送システム工学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ
専	教授	武田 哲明 <平成30年4月> 博士(博士)									
		・熱物理学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ			・熱物理学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ			・熱物理学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ			・熱物理学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ
専	教授	中山 栄浩 <平成30年4月> 博士(工学)									
		・先端材料学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ			・先端材料学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ			・先端材料学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ			・先端材料学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ
専	教授	藤森 篤 <平成30年4月> 工学博士									
		・振動制御特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ			・振動制御特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ			・振動制御特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ			・振動制御特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ
専	教授	吉原 正一郎 <平成30年4月> 博士(工学)									
		・生産加工学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ									
専	准教授	青柳 潤一郎 <平成30年4月> 博士(工学)									
		・輸送システム工学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ			・輸送システム工学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ			・輸送システム工学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ			・輸送システム工学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ
専	准教授	伊藤 安海 <平成30年4月> 博士(工学)	専	准教授	伊藤 安海 <平成30年4月> 博士(工学)	専	教授	伊藤 安海 <平成30年4月> 博士(工学)	専	教授	伊藤 安海 <平成30年4月> 博士(工学)
		・先端材料学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ			・先端材料学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ			・先端材料学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ			・先端材料学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ

























専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
専	教授	犬飼 潤治 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)	専	教授	専	教授	専	教授
		・表面・界面科学特論 ・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ						・表面・界面科学特論 ・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ
専	教授	常田 貴夫 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)						
		・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ						
専	教授	柿沼 克良 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)	専	教授	専	教授	専	教授
		・電極触媒設計特論 ・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ						・電極触媒設計特論 ・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ
専	教授	宮尾 敏広 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)	専	教授	専	教授	専	教授
		・表面・界面科学特論 ・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ						・表面・界面科学特論 ・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ
専	教授	ドナルド・トリック ＜平成30年4月＞ 博士(化学)	専	教授	専	教授	専	教授
		・グリーンエネルギー科学・技術英語特論上級 ・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ						・グリーンエネルギー科学・技術英語特論上級 ・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ
専	教授	内田 誠 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)	専	教授	専	教授	専	教授
		・電極触媒設計特論 ・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ						・燃料電池設計特論 ・電極触媒設計特論 ・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ
専	准教授	矢野 啓 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)	専	准教授				
		・電極触媒設計特論 ・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ						
専	教授	マシル イー プリト ＜平成30年4月＞ 工学博士	専	教授				
		・グリーンエネルギー科学・技術英語特論上級 ・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
専	教授	飯山 明裕 ＜平成30年4月＞ 工学博士	専	教授	飯山 明裕 ＜平成30年4月＞ 工学博士	専	教授	飯山 明裕 ＜平成30年4月＞ 工学博士
		・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ			・燃料電池設計特論 ・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ			・電極触媒設計特論 ・燃料電池設計特論 ・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ
専	助教	三宅 純平 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)	専	助教	三宅 純平 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)	専	助教	三宅 純平 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ			・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ		准教授	・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ
専	准教授	高嶋 敏宏 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)	専	准教授	高嶋 敏宏 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)	専	准教授	高嶋 敏宏 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		・太陽エネルギー変換工学特論 ・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ			・太陽エネルギー変換工学特論 ・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ			・太陽エネルギー変換工学特論 ・エネルギー物質科学フィールド・リサーチ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅰ ・エネルギー物質科学特別演習Ⅱ
専	教授	鈴木 猛康 ＜平成30年4月＞ 工学博士	専	教授	鈴木 猛康 ＜平成30年4月＞ 工学博士	専	教授	鈴木 猛康 ＜平成30年4月＞ 工学博士
		・防災減災学特論 ・環境社会システム学フィールド・リサーチ ・環境社会システム学特別演習Ⅰ ・環境社会システム学特別演習Ⅱ			・防災減災学特論 ・環境社会システム学フィールド・リサーチ ・環境社会システム学特別演習Ⅰ ・環境社会システム学特別演習Ⅱ			・防災減災学特論 ・環境社会システム学フィールド・リサーチ ・環境社会システム学特別演習Ⅰ ・環境社会システム学特別演習Ⅱ
専	教授	金子 栄廣 ＜平成30年4月＞ 工学博士	専	教授	金子 栄廣 ＜平成30年4月＞ 工学博士	専	教授	金子 栄廣 ＜平成30年4月＞ 工学博士
		・リスクマネジメント特論 ・環境衛生工学特論 ・環境社会システム学フィールド・リサーチ ・環境社会システム学特別演習Ⅰ ・環境社会システム学特別演習Ⅱ			・リスクマネジメント特論 ・環境衛生工学特論 ・環境社会システム学フィールド・リサーチ ・環境社会システム学特別演習Ⅰ ・環境社会システム学特別演習Ⅱ			・リスクマネジメント特論 ・環境衛生工学特論 ・環境社会システム学フィールド・リサーチ ・環境社会システム学特別演習Ⅰ ・環境社会システム学特別演習Ⅱ
専	教授	末次 忠司 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)	専	教授	末次 忠司 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)	専	教授	末次 忠司 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		・防災減災学特論 ・環境社会システム学フィールド・リサーチ ・環境社会システム学特別演習Ⅰ ・環境社会システム学特別演習Ⅱ			・防災減災学特論 ・環境社会システム学フィールド・リサーチ ・環境社会システム学特別演習Ⅰ ・環境社会システム学特別演習Ⅱ			・防災減災学特論 ・環境社会システム学フィールド・リサーチ ・環境社会システム学特別演習Ⅰ ・環境社会システム学特別演習Ⅱ
専	教授	佐々木 邦明 ＜平成30年4月＞ 工学博士	専	教授	佐々木 邦明 ＜平成30年4月＞ 工学博士			
		・地域都市デザイン特論 ・環境社会システム学フィールド・リサーチ ・環境社会システム学特別演習Ⅰ ・環境社会システム学特別演習Ⅱ			・地域都市デザイン特論 ・環境社会システム学フィールド・リサーチ ・環境社会システム学特別演習Ⅰ ・環境社会システム学特別演習Ⅱ			













専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
						浮田 芳昭 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)	専 准教授	浮田 芳昭 ＜平成31年4月＞ 博士(工学) ・生産加工学特論 ・システム統合工学フィールドリサーチ ・システム統合工学特別演習Ⅰ ・システム統合工学特別演習Ⅱ	
						中村 高志 ＜平成31年4月＞ 博士(工学)	専 助教	中村 高志 ＜平成31年4月＞ 博士(工学) ・環境データ分析特論 ・環境社会システム学フィールド・リサーチ ・環境社会システム学特別演習Ⅰ ・環境社会システム学特別演習Ⅱ	
兼任	准教授	野田 悟子 ＜平成30年4月＞ 博士(工学) ・環境微生物学特論	兼任	准教授	野田 悟子 ＜平成30年4月＞ 博士(工学) ・環境微生物学特論	野田 悟子 ＜平成30年4月＞ 博士(工学) ・環境微生物学特論	兼任	准教授	野田 悟子 ＜平成30年4月＞ 博士(工学) ・環境微生物学特論
兼任	教授	山縣 然汰朗 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) ・医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ	兼任	教授	山縣 然汰朗 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) ・医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ	山縣 然汰朗 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) ・医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ	兼任	教授	山縣 然汰朗 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) ・医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ
兼任	准教授	横道 洋司 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) ・医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ	兼任	准教授	横道 洋司 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) ・医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ	横道 洋司 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) ・医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ	兼任	准教授	横道 洋司 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) ・医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ
兼任	教授	宮村 李浩 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) ・生活健康学特論	兼任	教授	宮村 李浩 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) ・生活健康学特論	宮村 李浩 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) ・生活健康学特論	兼任	教授	宮村 李浩 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) ・生活健康学特論
兼任	教授	谷本 守正 ＜平成30年4月＞ 博士(農学) ・食品加工・栄養学特論	兼任	教授	谷本 守正 ＜平成30年4月＞ 博士(農学) ・食品加工・栄養学特論	谷本 守正 ＜平成30年4月＞ 博士(農学) ・食品加工・栄養学特論			
								舟根 和美 ＜令和2年4月＞ 博士(農学) ・食品加工・栄養学特論	
兼任	教授	望月 和樹 ＜平成30年4月＞ 博士(食品栄養科学) ・食品加工・栄養学特論	兼任	教授	望月 和樹 ＜平成30年4月＞ 博士(食品栄養科学) ・食品加工・栄養学特論	望月 和樹 ＜平成30年4月＞ 博士(食品栄養科学) ・食品加工・栄養学特論	兼任	教授	望月 和樹 ＜平成30年4月＞ 博士(食品栄養科学) ・食品加工・栄養学特論
兼任	教授(副学長)	早川 正幸 ＜平成30年4月＞ 博士(農学) ・科学者倫理学 ・医工農総合特論	兼任	教授(副学長)	早川 正幸 ＜平成30年4月＞ 博士(農学) ・科学者倫理学 ・医工農総合特論	早川 正幸 ＜平成30年4月＞ 博士(農学) ・科学者倫理学 ・医工農総合特論	兼任	教授(副学長)	早川 正幸 ＜平成30年4月＞ 博士(農学) ・科学者倫理学 ・医工農総合特論
兼任	教授(副学長)	杉山 俊幸 ＜平成30年4月＞ 工学博士 ・科学者倫理学	兼任	教授(副学長)	杉山 俊幸 ＜平成30年4月＞ 工学博士 ・科学者倫理学	杉山 俊幸 ＜平成30年4月＞ 工学博士 ・科学者倫理学	兼任	教授(副学長)	杉山 俊幸 ＜平成30年4月＞ 工学博士 ・科学者倫理学
兼任	教授(副学長)	武田 正之 ＜平成30年4月＞ 医学博士 ・科学者倫理学	兼任	教授(副学長)	武田 正之 ＜平成30年4月＞ 医学博士 ・科学者倫理学	武田 正之 ＜平成30年4月＞ 医学博士 ・科学者倫理学	兼任	教授(副学長)	武田 正之 ＜平成30年4月＞ 医学博士 ・科学者倫理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授(副学長)	岩崎 甫 <平成30年4月> 医学博士 ・科学者倫理学
兼任	教授	黒澤 尋 <平成30年4月> 学術博士 ・科学者倫理学 ・医工農総合特論
兼任	教授	中尾 篤人 <平成30年4月> 博士(医学) ・医工農総合特論
兼任	教授	喜多村 和郎 <平成30年4月> 博士(工学) ・医工農総合特論
兼任	准教授	筒井 宏彰 <平成30年4月> 理学士 ・医工農総合特論
兼任	講師	市川 温 <平成30年4月> 博士(工学) ・流域管理特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授(副学長)	岩崎 甫 <平成30年4月> 医学博士 ・科学者倫理学
兼任	教授	黒澤 尋 <平成30年4月> 学術博士 ・科学者倫理学 ・医工農総合特論
兼任	教授	中尾 篤人 <平成30年4月> 博士(医学) ・医工農総合特論
兼任	教授	喜多村 和郎 <平成30年4月> 博士(工学) ・医工農総合特論
兼任	准教授	筒井 宏彰 <平成30年4月> 理学士 ・医工農総合特論
兼任	准教授	白井 隆之 <平成30年4月> 学士(理学) ・医工農総合特論
兼任	講師	加藤 淳 <平成30年4月> 博士(工学) ・人工物設計学特論
兼任	講師	市川 温 <平成30年4月> 博士(工学) ・流域管理特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授(副学長)	岩崎 甫 <平成30年4月> 医学博士 ・科学者倫理学
兼任	教授	黒澤 尋 <平成30年4月> 学術博士 ・科学者倫理学 ・医工農総合特論
兼任	教授	中尾 篤人 <平成30年4月> 博士(医学) ・医工農総合特論
兼任	教授	喜多村 和郎 <平成30年4月> 博士(工学) ・医工農総合特論
兼任	准教授	白井 隆之 <平成30年4月> 学士(理学) ・医工農総合特論
兼任	講師	加藤 淳 <平成30年4月> 博士(工学) ・人工物設計学特論
兼任	講師	市川 温 <平成30年4月> 博士(工学) ・流域管理特論
兼任	講師	鈴木 保任 <平成31年4月> 博士(工学) ・環境材料化学特論
兼任	講師	高橋 智子 <平成31年4月> 博士(国際文化) ・政策評価特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授(副学長)	岩崎 甫 <平成30年4月> 医学博士 ・科学者倫理学
兼任	教授	黒澤 尋 <平成30年4月> 学術博士 ・科学者倫理学 ・医工農総合特論
兼任	教授	中尾 篤人 <平成30年4月> 博士(医学) ・医工農総合特論
兼任	教授	喜多村 和郎 <平成30年4月> 博士(工学) ・医工農総合特論
兼任	講師	市川 温 <平成30年4月> 博士(工学) ・流域管理特論
兼任	講師	鈴木 保任 <平成31年4月> 博士(工学) ・環境材料化学特論
兼任	講師	高橋 智子 <平成31年4月> 博士(国際文化) ・政策評価特論
兼任	講師	神田 浩史 <令和2年4月> 学士(農学) ・国際環境技術特論
兼任	講師	緒方 隆二 <令和2年4月> 修士(工学) ・国際環境技術特論
兼任	講師	竹内 智 <令和2年4月> 工学博士 ・環境数理解析特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
									兼任	講師	御園生 拓 <令和2年4月> Ph. D. In Biogy (旧Vt' 才連邦) ・生物資源特論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- (専任教員)
- ・吉原正一郎 教授：自己都合により、専任教員就任辞退（平成30年3月31日辞職）。
  - ・船谷俊平 准教授：「熱物理工学特論」を担当授業科目に追加。
  - ・鎌山善之 准教授：「先端材料学特論」を担当授業科目に追加。
  - ・森勢将雅 准教授：「音声・音響情報処理特論」を担当授業科目に追加。
  - ・植田郁生 助教：「機能計測化学特論」を担当授業科目に追加。
  - ・渡辺勝儀 准教授：急逝のため。
  - ・野原慎士 准教授：「電極触媒設計特論」を担当授業科目に追加。
  - ・東山和寿 教授：「表面・界面科学特論」を担当授業科目に追加。
  - ・常田貴夫 教授：任期満了により、専任教員就任辞退（平成30年3月31日）。
  - ・飯山明裕 教授：「燃料電池設計特論」を担当授業科目に追加。
  - ・小須田雅 教授：「環境数理解析特論」「環境社会システム学フィールド・リサーチ」「環境社会システム学特別演習Ⅰ」「環境社会システム学特別演習Ⅱ」の担当教員に追加。
  - ・芹澤如比古 准教授：「環境社会システム学フィールド・リサーチ」「環境社会システム学特別演習Ⅰ」「環境社会システム学特別演習Ⅱ」の担当教員に追加。
  - ・片岡良太 助教：「環境社会システム学フィールド・リサーチ」「環境社会システム学特別演習Ⅰ」「環境社会システム学特別演習Ⅱ」の担当教員に追加。
  - ・内山和治 助教：「量子電子デバイス工学特論」「エネルギー物質科学フィールド・リサーチ」「エネルギー物質科学特別演習Ⅰ」「エネルギー物質科学特別演習Ⅱ」の担当教員に追加。

- (兼任教員)
- ・筒井宏彰准教授の就任辞退により、白井隆之准教授に変更。

- (兼任教員)
- ・加羅淳講師：「人工物設計学特論」の担当教員に追加。

【令和元年度】

- (専任教員)
- ・伊藤安海 教授：昇任に伴い、准教授から教授に職名変更。
  - ・古屋信幸 教授：定年退職により、専任教員就任辞退（平成31年3月31日）。
  - ・森勢将雅 准教授：自己都合により、専任教員就任辞退（平成31年3月31日辞職）。
  - ・原本雄一郎 教授：定年退職により、専任教員就任辞退（平成31年3月31日）。
  - ・米山直樹 教授：昇任に伴い、准教授から教授に職名変更。
  - ・谷和江 准教授：定年退職により、専任教員就任辞退（平成31年3月31日）。
  - ・小林潔 教授：定年退職により、専任教員就任辞退（平成31年3月31日）。
  - ・内田誠 教授：「燃料電池設計特論」を担当科目に追加。
  - ・矢野啓 教授：自己都合により、専任教員就任辞退（平成31年3月31日辞職）。
  - ・マルイブナ 教授：任期満了により、専任教員就任辞退（平成31年3月31日）。
  - ・佐々木邦明 教授：自己都合により、専任教員就任辞退（平成30年9月30日辞職）。
  - ・森一博 教授：昇任に伴い、准教授から教授に職名変更。
  - ・武藤慎一 准教授：「地域都市デザイン特論」を担当科目に追加。
  - ・荒木功平 助教：自己都合により、専任教員就任辞退（平成30年11月30日辞職）。
  - ・御園生拓 教授：教育研究の充実を図るため、「生命生態特論」の担当を外れ、より専門性の近い「生物資源特論」を担当科目とすることとした。
  - ・鈴木保任 准教授：自己都合により、専任教員就任辞退（平成31年3月31日辞職）。
  - ・高橋智子 准教授：自己都合により、専任教員就任辞退（平成31年3月31日辞職）。
  - ・田中靖浩 准教授：「生物資源特論」を担当科目に追加。
  - ・坂本康 教授：定年退職により、専任教員就任辞退（平成31年3月31日）。
  - ・風間ふたば 教授：副学長就任に伴い、職名に（副学長）を追加。
  - ・石平博 教授：昇任に伴い、准教授から教授に職名変更。
  - ・遠山忠 准教授：「環境データ分析特論」を担当科目に追加。
  - ・芹澤如比古 准教授：「生命生態特論」を担当科目に追加。
  - ・片岡良太 助教：「生物資源特論」を担当科目に追加。
  - ・浮田芳昭 准教授：「生産加工学特論」「システム統合工学フィールドリサーチ」「システム統合工学特別演習Ⅰ」「システム統合工学特別演習Ⅱ」の担当教員に追加。
  - ・中村高志 助教：「環境データ分析特論」「環境社会システム学フィールド・リサーチ」「環境社会システム学特別演習Ⅰ」「環境社会システム学特別演習Ⅱ」の担当教員に追加。

- (兼任教員)
- ・鈴木保任 講師：「環境材料化学特論」の担当教員に追加。
  - ・高橋智子 講師：「政策評価特論」の担当教員に追加。

【令和2年度】

- (専任教員)
- ・浮田芳昭 准教授：「生産加工学特論」「システム統合工学フィールドリサーチ」「システム統合工学特別演習Ⅰ」「システム統合工学特別演習Ⅱ」の担当教員に追加。
  - ・野田善之 教授：昇任に伴い、准教授から教授に職名変更。
  - ・宗久知男 教授：定年退職により、専任教員就任辞退（令和2年3月31日）。
  - ・服部元信 教授：昇任に伴い、准教授から教授に職名変更。
  - ・渡辺喜道 教授：昇任に伴い、准教授から教授に職名変更。
  - ・鈴木章泰 教授：定年退職により、専任教員就任辞退（令和2年3月31日）。
  - ・植田郁生 准教授：昇任に伴い、助教から准教授に職名変更。
  - ・長尾雅則 准教授：昇任に伴い、助教から准教授に職名変更。
  - ・三宅純平 准教授：昇任に伴い、助教から准教授に職名変更。
  - ・宮本 崇 准教授：昇任に伴い、助教から准教授に職名変更。「防災減災学特論」を担当科目に追加。
  - ・原本英司 教授：昇任に伴い、准教授から教授に職名変更。
  - ・岩田智也 教授：昇任に伴い、准教授から教授に職名変更。
  - ・島 弘幸 教授：昇任に伴い、准教授から教授に職名変更。
  - ・馬籠 純 准教授：昇任に伴い、助教から准教授に職名変更。
  - ・舩谷敬一 教授：定年退職により、専任教員就任辞退（令和2年3月31日）。
  - ・内田裕之 教授：定年退職により、専任教員就任辞退（令和2年3月31日）。
  - ・竹内 智 教授：定年退職により、兼任教員に変更（令和2年3月31日）。
  - ・御園生拓 教授：定年退職により、兼任教員に変更（令和2年3月31日）。
  - ・東山和寿 教授：任期満了により、専任教員就任辞退（令和2年3月31日）。

- (兼任教員)
- ・谷本守正 教授：定年退職により、就任辞退（令和2年3月31日）。
  - ・舟根和美 教授：「食品加工・栄養学特論」の担当教員に追加。
  - ・白井隆之 准教授：自己都合により、就任辞退（令和2年3月31日）。

- (兼任教員)
- ・神田浩史 講師：「国際環境技術特論」の担当教員に追加。
  - ・緒方隆二 講師：「国際環境技術特論」の担当教員に追加。
  - ・加羅 淳 講師：自己都合により、兼任教員就任辞退（令和2年3月31日）。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
  - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
7	5	2
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
68	82	0	6	156	0	64	73	0	3	140	0
(67)	(82)	(0)	(8)	(157)	0						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
99	57	0				107	33	0			
(109)	(48)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
64	73	0	3	140	0	64	73	0	3	140	0
[△4]	[△9]	[ 0 ]	[△3]	[△16]	[0]	[△4]	[△9]	[ 0 ]	[△3]	[△16]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
107	33	0				107	33	0			
[8]	[△24]	[0]				[8]	[△24]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{140}{156} = \boxed{89.74} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{140} = \boxed{0.71} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	吉原 正一郎	H30.3	選択	生産加工学特論	①	自己都合（芝浦工業大学教授採用）のため（30）			
				選択	システム統合工学フィールドリサーチ	①				
				必修	システム統合工学特別演習Ⅰ	①				
				必修	システム統合工学特別演習Ⅱ	①				
2	准教授	渡辺 勝儀	H29.8	選択	光量子工学特論	①	急逝のため（30）			
				選択	エネルギー物質科学フィールドリサーチ	①				
				必修	エネルギー物質科学特別演習Ⅰ	①				
				必修	エネルギー物質科学特別演習Ⅱ	①				
3	教授	常田 貴夫	H30.3	選択	エネルギー物質科学フィールドリサーチ	①	任期満了のため（30）			
				必修	エネルギー物質科学特別演習Ⅰ	①				
				必修	エネルギー物質科学特別演習Ⅱ	①				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
3	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	11	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	佐々木 邦明	H30.9	選択	地域都市デザイン特論	①	自己都合(早稲田大学教授採用)のため(元)			
				選択	環境社会システム学フィールド・リサーチ	①				
				必修	環境社会システム学特別演習Ⅰ	①				
				必修	環境社会システム学特別演習Ⅱ	①				
2	助教	荒木 功平	H30.11	選択	環境社会システム学フィールド・リサーチ	①	自己都合(未定)のため(元)			
				必修	環境社会システム学特別演習Ⅰ	①				
				必修	環境社会システム学特別演習Ⅱ	①				
3	准教授	森勢 将雅	H31.3	選択	音声・音響情報処理特論	①	自己都合(明治大学採用)のため(元)			
				選択	システム統合工学フィールド・リサーチ	①				
				必修	システム統合工学特別演習Ⅰ	①				
				必修	システム統合工学特別演習Ⅱ	①				
4	准教授	鈴木 保任	H31.3	選択	環境材料化学特論	②	自己都合(金沢工業大学採用)のため(元)			
				選択	環境社会システム学フィールド・リサーチ	①				
				必修	環境社会システム学特別演習Ⅰ	①				
				必修	環境社会システム学特別演習Ⅱ	①				
5	准教授	高橋 智子	H31.3	選択	政策評価特論	②	自己都合(中央大学採用)のため(元)			
				選択	環境社会システム学フィールド・リサーチ	①				
				必修	環境社会システム学特別演習Ⅰ	①				
6	准教授	矢野 啓	H31.3	選択	電極触媒設計特論	①	自己都合(トヨタ紡織採用)のため(元)			
				選択	エネルギー物質科学フィールド・リサーチ	①				
				必修	エネルギー物質科学特別演習Ⅰ	①				
				必修	エネルギー物質科学特別演習Ⅱ	①				
7	教授	マシル イー プリト	H31.3	選択	外語(英語)-科学・技術英語特論上級	①	任期満了のため(元)			
				選択	エネルギー物質科学フィールド・リサーチ	①				
				必修	エネルギー物質科学特別演習Ⅰ	①				
				必修	エネルギー物質科学特別演習Ⅱ	①				
8	教授	東山 和寿	R2.3	選択	表面・界面科学特論	①	任期満了のため(2)			
				選択	エネルギー物質科学フィールド・リサーチ	①				
				必修	エネルギー物質科学特別演習Ⅰ	①				
				必修	エネルギー物質科学特別演習Ⅱ	①				
合計(F)					後任補充状況の集計(G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)			
8	人	必修	16	科目	必修	16	科目	必修	0	科目
		選択	15	科目	選択	13	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	31	科目	計	29	科目	計	2	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
11 人	必修	22 科目	必修	22 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	20 科目	選択	18 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	42 科目	計	40 科目	計	2 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{11}{156} = \boxed{7.05} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	古屋 信幸	選択	先進ロボティクス特論	①	H31.3.31定年退職のため(元)			
			選択	システム統合工学フィールド・リサーチ	①				
			必修	システム統合工学特別演習Ⅰ	①				
			必修	システム統合工学特別演習Ⅱ	①				
2	教授	原本 雄一郎	選択	有機機能性分子化学特論	①	H31.3.31定年退職のため(元)			
			選択	エネルギー物質科学フィールド・リサーチ	①				
			必修	エネルギー物質科学特別演習Ⅰ	①				
			必修	エネルギー物質科学特別演習Ⅱ	①				
3	教授	小林 潔	選択	量子電子デバイス工学特論	①	H31.3.31定年退職のため(元)			
			選択	エネルギー物質科学フィールド・リサーチ	①				
			必修	エネルギー物質科学特別演習Ⅰ	①				
			必修	エネルギー物質科学特別演習Ⅱ	①				
4	教授	坂本 康	選択	陸水水質評価特論	①	H31.3.31定年退職のため(元)			
			選択	水文水資源学特論	①				
			選択	流域管理特論	①				
			選択	環境社会システム学フィールド・リサーチ	①				
			必修	環境社会システム学特別演習Ⅰ	①				
			必修	環境社会システム学特別演習Ⅱ	①				
5	准教授	谷 和江	選択	機能計測化学特論	①	H31.3.31定年退職のため(元)			
			選択	エネルギー物質科学フィールド・リサーチ	①				
			必修	エネルギー物質科学特別演習Ⅰ	①				
			必修	エネルギー物質科学特別演習Ⅱ	①				
6	教授	宗久 知男	選択	マンマシンインターフェース特論	①	R2.3.31定年退職のため(2)			
			選択	システム統合工学フィールド・リサーチ	①				
			必修	システム統合工学特別演習Ⅰ	①				
			必修	システム統合工学特別演習Ⅱ	①				
7	教授	鈴木 章泰	選択	高分子材料化学特論	①	R2.3.31定年退職のため(2)			
			選択	エネルギー物質科学フィールド・リサーチ	①				
			必修	エネルギー物質科学特別演習Ⅰ	①				
			必修	エネルギー物質科学特別演習Ⅱ	①				
8	教授	内田 裕之	選択	燃料電池設計特論	①	R2.3.31定年退職のため(2)			
			選択	エネルギー物質科学フィールド・リサーチ	①				
			必修	エネルギー物質科学特別演習Ⅰ	①				
			必修	エネルギー物質科学特別演習Ⅱ	①				
9	教授	舛谷 敬一	選択	水文水資源学特論	①	R2.3.31定年退職のため(2)			
			選択	リモートセンシングと地理情報特論	①				
			選択	環境社会システム学フィールド・リサーチ	①				
			必修	環境社会システム学特別演習Ⅰ	①				
			必修	環境社会システム学特別演習Ⅱ	①				
10	教授	竹内 智	選択	環境数理解析特論	②	R2.3.31定年退職のため(2)			
			選択	環境社会システム学フィールド・リサーチ	①				
			必修	環境社会システム学特別演習Ⅰ	①				
			必修	環境社会システム学特別演習Ⅱ	①				
11	教授	御園生 拓	選択	生物資源特論	②	R2.3.31定年退職のため(2)			
			選択	環境社会システム学フィールド・リサーチ	①				
			必修	環境社会システム学特別演習Ⅰ	①				
			必修	環境社会システム学特別演習Ⅱ	①				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
11	人	必修	22 科目	必修	22 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	25 科目	選択	23 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	47 科目	計	45 科目	計	2 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

#### (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・退職及び辞職教員の担当科目は、他の専任教員が担当しているため、履修上の問題はないと考える。なお、学生に対してはガイダンス等で周知済みである。

・「環境材料化学特論」については、他の専任教員が新たに担当することはないが、辞職した担当教員が兼任教員として授業を担当するなど、指導体制を変えないことで、教育研究の維持を図っていることから、履修上は問題ないとする。

・「政策評価特論」、「環境数理解析特論」、「生物資源特論」については、他の専任教員が引続き担当するとともに、辞職・退職した教員も兼任教員として授業を担当することで、研究教育体制は維持することが可能であり、履修上は問題ないとする。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (平成29年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<医工農学総合教育部 工学専攻（博士課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、授業期間が前期は例年よりも約1ヶ月、後期は1週間後ろ倒しとなっている。また、「山梨大学の新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動指針」のレベル2に従い、講義科目は原則としてオンラインで行い、演習・研究科目等は感染拡大に最大限の配慮をしつつ、細心の注意を払って実施している。今後、新型コロナウイルスの感染状況に応じて、行動指針のレベルに変更が生じた場合、レベルに従った講義科目や演習・研究科目等の実施方法へ変更する。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>【全学組織】 大学教育センターFD部門（別紙1「大学教育センター細則」、別紙2：「大学教育センター部門要項」）</p> <p>【工学域】 工学域教育委員会（別紙3：「工学域各種委員会内規」）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>【全学組織】 大学教育センターFD部門打合せ会議 3回（令和元年6月3日開催、令和元年10月15日～10月18日メール会議、令和元年10月31日～11月6日メール会議）委員11名</p> <p>【工学域】 工学域教育委員会 9回（平成31年4月1日開催、令和元年5月23日開催、7月18日開催、9月5日開催、10月3日開催、11月14日開催、12月19日開催、令和2年1月17日開催、3月13日開催）委員12名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>【全学組織】 全学教育FD研修会の年度テーマ・計画・実施内容について、オンラインFD、教員参加率向上方法の検討等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>【全学組織】 ・全学教育FD研修会の開催</p> <p>【工学域】 ・工学域教育FD研修会</p>
--

b 実施方法

【全学組織】

全学教育FD研修会（年7回実施。Moodleを利用したオンラインでの研修会記録動画配信も実施した。）

【工学域】

工学域教育FD研修会（年2回実施）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

【全学組織】

- ・全学教育FD研修会「内部質保証システム説明会」令和元年6月13日、令和元年6月20日、令和元年6月26日開催 220名参加
- ・全学教育FD研修会「反転授業とアクティブラーニングの実践事例報告会」令和元年7月24日開催 55名参加
- ・全学教育FD研修会「Moodle講習会」令和元年9月24日、令和元年9月27日、令和元年11月27日、令和2年2月13日開催 70名参加
- ・全学教育FD研修会「内部質保証システムと数理・データサイエンス教育」令和元年10月3日開催 79名参加
- ・全学教育FD研修会「山梨大学優秀教育賞受賞記念講演」令和元年12月3日開催 42名参加
- ・全学教育FD研修会「発達障がいを抱える学生への指導・対応について」令和元年12月19日開催 62名参加
- ・全学教育FD研修会「緊急対策としての授業のオンライン化」令和2年3月24日～令和2年4月3日開催（オンライン実施）81名参加

【工学域】

- ・FD研修会「山梨大学学生サポートセンターの支援と活用方法」令和元年5月17日開催
- ・FD研修会「Moodleを利用について～活用時理恵の紹介～」令和元年9月27日開催

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD研修会を通じて、現状の課題に関し、教員間で情報交換、意見交換を行い、講義の調整・工夫の共有、学生の理解度、関心度等を共有し、翌年度以降に反映することとしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年2回（6月～8月、12月～2月）実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員には紙媒体で科目毎の授業評価結果を通知するが、学生に対しては公開していない。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

工学専攻において養成する人材像として「共通の数理科目を含む体系的な専門教育カリキュラムにより、企業、公的研究機関及び高等教育機関における研究開発の中核を担う実践力を有する人材を育成することとしている。中教審答申及び産業界からの要望においても、社会の多様な場で働く博士人材育成のため、高度な専門性に加えて、科学的倫理性を追求する思考力や文理を超えた幅広い視野の涵養が謳われている。

平成30年度春季入学生21名は、「科学者倫理学」「医工農総合特論」「機能の現象学特論」及び「リスクマネジメント特論」の大学院共通科目、工学専攻共通科目及び工学専攻各コースの専門科目を、平成30年度その他の学期入学生10名についても、「医工農総合特論」「機能の現象学特論」及び「リスクマネジメント特論」の大学院共通科目、工学専攻共通科目及び工学専攻各コースの専門科目を履修し、本専攻の人材育成のミッションとしての「産業界や国際的な学術及び公的機関で働く高度専門人材の育成」に向けた教育研究が遂行できていると考える。

令和元年度も、入学定員23名に対し、修士課程工学専攻修了者に対する求人急増などの影響から、就職のため入学を辞退するものもあり、春季の入学者数は20名と若干定員を下回る結果となっているが、修士課程工学専攻修了者や留學生などへの広報活動を行い、その他の学期入学者により充足を図ることができたと考える。

令和2年度において、収容定員69名に対し現在籍者数66名であり、10月には収容定員を満たすものとする。また、工学専攻においては完成年度であり、主指導教員のほかに副指導教員（少なくとも1名は医工農学総合教育部の他専攻または本専攻の他コースを担当する専任教員）を選任し複数指導体制（指導教員グループ制）を敷き中間審査及び本審査を実施し、高度な専門性や広い視野での指導を円滑に進めることで高度専門人材の育成を図る。

日常的な教育上の課題や学生生活上の課題については指導教員や指導教員グループにおいて改善を図り、運営全体については月2回程度開催する博士課程工学専攻主任会議にて協議し、主要な課題は規定どおり工学専攻運営会議（教授会）にて審議・決定している。

以上のように事前伺いの計画通り、平成30年度及び令和元年度は順調に運営を行うことができ、令和2年度も順調に運営を開始している。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

- ・令和3年6月頃 公表

###### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和3年6月末を予定）

##### ③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の機関別認証評価を受ける予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [ 令和3年3月公開予定 ]

c 公表方法 [ 大学ホームページへ掲載 ]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

## ○ 山梨大学大学教育センター細則

制定 平成27年 7月28日  
改正 平成29年 3月27日  
平成31年 3月27日

(趣旨)

第1条 この細則は、国立大学法人山梨大学基本規則第38条第2項の規定に基づき、山梨大学大学教育センター（以下「センター」という。）に関し、必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、山梨大学（以下「本学」という。）における、教育方法の改善や教育の質保証のための取組みを企画し実施することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 教育の質保証に関すること。
- (2) 教育評価に関すること。
- (3) 全学的なFDの企画立案、実施及び評価に関すること。
- (4) 教育環境の情報化に関すること。
- (5) 他機関との教育連携に関すること。
- (6) その他第2条の目的を達成するために必要な事項

(部門)

第4条 センターに次の部門を置く。

- (1) FD部門
- (2) 教育ICT部門
- (3) 教学IR部門
- (4) 教育改善部門

2 部門に関し必要な事項は、別に定める。

(組織)

第5条 センターに、次の職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 専任教員
- (3) 協力教員
- (4) その他必要な職員

(センター長)

第6条 センター長は、本学の専任教員の中から学長が指名する。

2 センター長は、センターの業務を掌理する。

3 センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、センター長に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(副センター長)

第7条 センターに、副センター長を置くことができる。

2 副センター長は、本学の専任教員の中から、センター長の推薦に基づき、学長が指名する。

3 副センター長は、センター長の職務を補佐する。

4 副センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、センター長の任期を超える

ことはできない。

(専任教員)

第8条 専任教員は、センターの業務を処理する。

(協力教員)

第9条 協力教員は、本学の専任教員の中から、センター長の推薦に基づき、学長が指名する。

(審議組織)

第10条 センターの管理運営に関する重要事項の審議は、山梨大学教育国際化推進機構協議会(以下「協議会」という。)において行う。

2 前項に規定するもののほか、センターの業務に関し必要な事項の審議は、山梨大学教育企画委員会において行う。

(センター連絡会)

第11条 センター長は、業務の遂行に必要な事項の検討及び調整を行うため、センター職員によるセンター連絡会を開催することができる。

(庶務)

第12条 センターに関する庶務は、教学支援部教務企画課において処理する。

(雑則)

第13条 この細則に定めるもののほか、センターの運営に関し重要な事項は、協議会の議を経てセンター長が定める。

附 則

1 この細則は、平成27年7月28日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

2 山梨大学大学教育センター規程(平成26年3月28日制定)は、廃止する。

附 則

この細則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成31年4月1日から施行する。

## ○ 山梨大学大学教育センター部門要項

制定 平成29年 3月15日

(趣旨)

第1条 この要項は、山梨大学大学教育センター細則（以下「細則」という。）第4条に規定する山梨大学大学教育センター（以下「センター」という。）の各部門に関し必要な事項を定める。

(業務)

第2条 各部門は、次の業務を、他の部門と相互に連携・協力して実施する。

- (1) F D部門は、細則第3条第3号に定める業務に関する事。
  - (2) 教育 I C T部門は、細則第3条第4号に定める業務に関する事。
  - (3) 教学 I R部門は、細則第3条第1号及び第2号に定める業務に関する事。
  - (4) 教育改善部門は、細則第3条第1号、第2号及び第5号に定める業務に関する事。
- 2 前項の業務を円滑に実施するため、各部門は必要に応じて部門打合せ会議を開催する。

(構成員)

第3条 各部門は、次の者で構成する。

- (1) 部門長
- (2) 細則第5条第2号に定める専任教員
- (3) 細則第9条に定める協力教員
- (4) その他、センター長が必要と認めた者

(部門長)

第4条 部門長は、本学の専任教員の中からセンター長の推薦に基づき、学長が指名する。

- 2 部門長は、当該部門の業務を掌理する。
- 3 部門長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(雑則)

第5条 この要項に定めるもののほか、部門に関し必要な事項はセンター長が定める。

附 則

この要項は、平成29年4月1日から施行する。



## ○ 工学城各種委員会内規

制定	平成16年	4月	1日
改正	平成16年	11月	1日
	平成17年	4月	1日
	平成18年	4月	1日
	平成19年	6月	14日
	平成20年	4月	1日
	平成21年	4月	1日
	平成22年	4月	1日
	平成24年	3月	6日
	平成24年	5月	10日
	平成26年	10月	9日

## (趣旨)

第1条 この内規は、山梨大学大学院総合研究部学域運営会議規程第9条第2項の規定に基づき、工学城各種委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定める。

## (委員会)

第2条 工学城に、別表に掲げる委員会を置く。

- 2 各委員会の運営に関する必要事項は、別表に定めるとおりとする。
- 3 第1項の委員会のほか、必要がある場合は、時限の委員会を置くことができる。
- 4 各委員会の委員は、再任することができる。

## (委員長)

第3条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

- 2 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

## (会議)

第4条 委員会の会議は、委員の過半数をもって成立する。

- 2 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

## (委員以外の者の出席)

第5条 委員長は、必要があると認めたときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

## (庶務)

第6条 委員会の庶務は工学部支援課で処理する。

## (雑則)

第7条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、各委員会が別に定める。

附 則

この内規は、平成16年4月1日から実施する。

附 則

この内規は、平成16年11月1日から実施する。

附 則

この内規は、平成17年4月1日から実施する。

附 則

この内規は、平成18年4月1日から実施する。

附 則

この内規は、平成19年6月14日から実施する。

附 則

この内規は、平成20年4月1日から実施する。

附 則

この内規は、平成21年4月1日から実施する。

附 則

この内規は、平成22年4月1日から実施する。

附 則

この内規は、平成24年4月1日から実施する。

附 則

この内規は、平成24年5月10日から実施する。

附 則

この内規は、平成26年10月1日から実施する。

## 別 表

委 員 会	審 議 事 項	組 織	任 期	委 員 長
工学域学生委員会	学生の厚生補導に関する事 学生の進路指導に関する事 学生の奨学金に関する事 学生のISO指導に関する事 学生の交通問題指導に関する事 留学生に関する事 学生実験安全対策に関する事	ME、EE、CS、JM、CE、 AC、AM、MS、ES、KM、 CE、AA、BT、SS、HS、 CP、WP、KP、RP、GP から教授 各1名	2年	評議員
工学域教育委員会	工学部及び大学院修士課程に係る 教務に関する事 JABEE教育に関する事 インターンシップに関する事	ME、EE、CS、JM、CE、 AC、AM、MS、ES、KM、 CE、AA、BT、SS、HS、 CP、WP、KP、RP、GP から教授 各1名	2年	評議員
工学域将来計画委員会	中期目標・中期計画に関する事 工学域に係る組織の改廃等に関する事	ME、EE、CS、JM、CE、 AC、AM、I、Rから 教授 各1名	2年	学部長
工学域評価委員会	教員及び職員評価システムに関する事 自己点検評価に関する事	ME、EE、CS、JM、CE、 AC、AM、I、Rから 教授 各1名	2年	学部長
工学域予算委員会	予算配分基準に関する事	ME、EE、CS、JM、CE、 AC、AM、I、Rから 教授 各1名、支援 課長	1年	評議員
工学域施設委員会	施設利用に関する事	ME、EE、CS、JM、CE、 AC、AM、I、Rから 教授 各1名、支援 課長	1年	評議員
工学部入学者選抜方法検討委員会	工学部に係る入試方法の調査検討 に関する事 入学者の追跡調査に関する事	ME、EE、CS、JM、CE、 AC、AMから各1名	2年	学部長 指名の 者
工学部入学試験委員会	学生募集要項等に関する事 入学者選抜の実施に関する事	ME、EE、CS、JM、CE、 AC、AMから各3名(学 科長を含む)、コンピ ュータ処理専門委員	2年	学部長 指名の 委員

工学部入学試験委員会コンピュータ処理専門委員会	個別学力検査に関するコンピュータ処理システムの保守管理及びデータ処理	ME、EE、CS、JM、CE、AC、AM から各1名、入試委員長補佐代表	2年	学部長指名の者
		学部長指名委員3名	3年	
工学域研究推進委員会	研究プロジェクトに関すること 外部資金の獲得に関すること 研究環境の改善に関すること	ME、EE、CS、JM、CE、AC、AM から各1名	2年	評議員
工学域広報委員会	広報に関すること（入試広報を含む） ホームページの運営に関すること 研究報告に関すること	ME、EE、CS、JM、CE、AC、AM から各2名	2年	学部長指名の者
工学部毒物及び劇物等管理委員会	毒物及び劇物等の管理に関すること	ME、EE、CS、JM、CE、AC、AM、I、R から各1名	2年	学部長指名の委員
先端領域若手研究リーダー育成拠点（工学域）実施委員会	工学域におけるテニュアトラック制度実施に関すること	学部長指名		学部長

※ 組織欄の記号は、各学科・専攻等名を表わす。

ME：機械工学科、 EE：電気電子工学科、 CS：コンピュータ理工学科、  
JM：情報メカトロニクス工学科、 CE：土木環境工学科、 AC：応用化学科  
AM：先端材料理工学科、 MS：機械システム工学専攻、 ES：電気電子システム工学専攻  
KM：コンピュータ・メディア工学専攻、 CE：土木環境工学専攻、 AA：応用化学専攻  
BT：生命工学専攻、 SS：持続社会形成専攻、 HS：人間システム工学専攻  
CP：クリーンエネルギー特別教育プログラム、 WP：ワイン科学特別教育プログラム  
KP：組込み型統合システム教育プログラム、 RP：国際流域環境科学特別教育プログラム  
GP：グリーンエネルギー変換特別教育プログラム